

愛媛県立南宇和高等学校（愛媛県）

GLOBALG.A.P. 2023年取得 河内晩柑

所在地：愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城3269番地

応募区分：人材育成の部

栽培品目：河内晩柑

経営面積：約1ha

構成員：53名



柑橘では高校生初の
GLOBALG.A.P.認証を取得

▼GAPに取り組んだきっかけ

- 平成30年、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村への食材提供を目標とし、国際的な視野を持って柑橘栽培に取り組ませたいと考え、GLOBALG.A.P.認証を取得。柑橘では全国の高等学校で初の事例。

▼GAPの継続に向けた取組

- 実際にGAP認証を取得している果樹専攻班だけでなく、農業科の全生徒にGAPの基本的な考え方・実践を身に付けてもらうため、全学年で行われる総合実習の時間でGAPの指導を行う。また、GAPを人材育成のツールとしても活用し、生徒が主体的に活動できるような学習カリキュラムを組んでいる。
- 県内のGAPに取り組む農家が作成したGAP認証取得支援ツールを導入し活用。

⇒認証取得時と比べて紙媒体の資料が3割減少

▼生産効率の向上に向けた取組とその効果

- GAPの取組の一環で記録している業務日報の分析を行い、農薬散布の効率向上及び負担軽減を行うには剪定作業の効率化が重要であると考え、農業関係団体の協力のもと、低樹高栽培に向けた研究を実施。作業効率の向上と高品質化が同時にできるこの低樹高栽培を広めるべく、各種講演会・取材への参加やコンテストへの応募を行なながら、地域の農家へ普及する取組を行う。

▼経営改善に向けた取組とその効果

- 近年は非農家出身の生徒が大半を占め、別分野へ進学・就職する生徒が多くいたが、GAPを通じ多くの地域農業者等と何かわることで農業へ関心を持ち、農業分野への進学を志す生徒が増加。
⇒令和3年度0名、令和4年度1名、令和5年度3名

▼波及効果

- 近隣の農業高校と年2回のGAP学習会を開催し、県内でGAPを取得している農業者の講演や、同校生徒によるGAP実践の説明会を実施。地域内外に生徒自らGAPの取組を発信及び指導等を行っており、現在は県内4校がGAP認証を取得。
- 校内で収穫されたGAP認証農産物を活用した加工品開発にも取り組み、そのマーマレードを使用したお菓子を町内製菓店が商品化。その他にも東京オリンピック選手村への食材提供や地域水産加工会社とのコラボ、愛南町と連携した県外でのPR活動、生絞りジュースの製造など、河内晩柑を全国、世界へ広げたいと様々な活動を行う。



外部講師を招いたGAP学習



マーマレードを使用した
地元製菓店でのお菓子販売